

〈新規採用教員紹介〉

新規採用教員として

南筑高校 江頭 史実

本年度、新規採用教員として久留米市立南筑高等学校に赴任して一年が過ぎようとしている。大学院に在籍しながら、佐賀県の高校の非常勤講師として勤務し、大学院修了後からは常勤講師として、南筑高校で七年の講師経験を経て採用となった。慣れた環境で初任を迎えられることを嬉しく思う。しかし、「慣れた環境に甘えることなく、新鮮味のある教員でいてください」という先輩の言葉に気を引き締め、初心忘るべからずを自分に言い聞かせ日々過ごしている。教諭となり、自分が学校や生徒にできることは何か、物事に真摯に臨んでいるかを、自問自答しながら取り組んでいる。

授業では、一年生の「書道Ⅰ」、二年生の「書道Ⅱ」、三年生の「実用書道」を担当している。その中で、生徒は高い課題設定にも果敢に挑戦し、自分自身や作品と向き合いながら「もう一枚」と粘り強く取り組む様子が見られる。また、生徒が書を通して、自分の思いを大切にでき、他者の表現も認めることができる力を身につけられるよう、日々研鑽を重ねているところだ。

本校は、柔道ではオリンピックの金メダリストを輩出するなど部活動が盛んな学校だが、その中で書道部は、各公募展や揮毫大会での上位入賞を目標とし、活発に活動している。また、書道パフォーマンスにも力を注ぎ、校外から発表の機会を頂けることも増えてきた。地域から「南筑と

いえば書道」と言っていただけようになってきており、今後も生徒が書を通して表現することの楽しさを味わい、人間性を高めることができるよう、生徒とともに私も精進していきたい。

私が、このように書道教諭として勤務することができているのは、これまで周囲で支えていただいた多くの方々のおかげだ。書を通して出会えた恩師、先輩や後輩、仲間に大変感謝している。今後も謙虚な気持ちを忘れず学び続けていくとともに、これまで出会った方々から得た学びを、生徒に伝えていくことができるよう努力したい。今後とも先輩方のご指導、ご鞭撻を受け、励んでいきたいと考えている。